

令和3年10月18日

生徒並びに保護者の皆様へ

京都府立須知高等学校
校 長 湯川 佳 秀
PTA会長 山内 敏 史

開校記念日（11月1日）について

本校は、明治9年（1876年）10月にジェームス・オースティン・ウイード氏を主任教師とする京都府農牧学校として創設され、同年設立された札幌農学校（現在の北海道大学農学部）、東京駒場農学校（現在の東京大学農学部）とともに日本三大農業教育発祥の地にある、140年以上の歴史と伝統を引き継ぐ学校であります。

その後、昭和23年（1948年）10月30日に京都府立須知農業高等学校が廃止され、翌日の昭和23年10月31日に京都府立須知高等学校が設置され、翌日11月1日に新制の高等学校として開校されたことにより、11月1日を本校の開校記念日に定めたものです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を十分に講じた上で、記念事業として、11月1日（月）の5・6時間目に記念講演会を実施します。講師は、本校昭和49年卒業生で、龍谷大学農学部資源生物科学科 教授 樋口 博也 様に依頼しております。演題は現在調整中です。

なお、現在、全国的に新型コロナウイルス感染症の新規の感染者は減少傾向にあります。感染再拡大を防ぐため生徒、教職員以外の御拝聴いただく方を同窓会及びPTAの本部役員の皆様に制限させていただきます。

生徒の皆さんは、この開校記念日を契機に本校の歴史を振り返り、伝統ある須知高校生としての自信と誇りを持つとともに、自分の希望進路実現のため将来をしっかりと見据えて、力強く着実に歩いていくことを願います。